令和２年度

王子地区地域円卓会議　概要

日　　時：令和２年１１月１９日（木）　午後６時３０分～午後７時４５分

場　　所：王子区民センター　３階第１ホール

参加団体：王子町会自治会連合会、青少年王子地区委員会、赤十字奉仕団王子分団
王子銀座商店街振興組合、スポーツ推進委員協議会、
民生・児童委員王子地区協議会、王子光照苑高齢者あんしんセンター
王子小学校 PTA、王子消防団第 3 分団及び第 8 分団
王子警察署、王子消防署、王子東児童館

会議概要

1　開会の挨拶
王子町会自治会連合会会長より挨拶があった。

2　地域円卓会議説明
事務局より、円卓会議設立の背景、本日の会議の目的と内容について参加者に説明した。

3　参加者自己紹介
各団体の参加者が「コロナ禍での活動において課題と感じたこと」を交え、順番に 1 分程度で自己紹介を行った。

（主な意見）

・町会費を集める際、「今年は行事等がほとんど中止となったのに集めるのか？」といった意見があった。確かに行事は中止となっているが、防犯・防災、周年記念品の配付等の活動は行っている。そのような活動を行っていることを周知し、理解を得ることがなかなか難しい。
・青少年地区委員会ではウォークラリー大会を行った。60 組以上の応募があったが、密を避けて安全に運営するため抽選で 30 組に減らすこととなった。
・商店街では例年と異なる方法（はがきによる抽選）でセールを実施した。今後も人が密集しない形をとる等、工夫してセールを実施していきたい。
・コロナ対策（手洗い・うがい・グループごとに集合時間をずらす等）をしながら行事を動かす大変さを実感した。皆で協力しながら、ルールを守ることが重要だと考えている。
・高齢者施設では、入居者に感染させないように、各職員に対しては施設外での行動についても自覚を促している。いまのところは感染者なし。
・小学校では、上半期は登校がなかったので行事はなく、下半期は運動会を縮小して実施した。また、校内の保護者立入は禁止となっている。

・防災訓練を行った町会があったが、この時期に訓練を実施していることへのご意見もあった。コロナ禍でも災害は来るので訓練をおろそかにはできない。
・仕事を抱えながら消防団をやっていると、活動中に万一新型コロナウイルス感染症に感染すると、本職に影響が出てしまうことを不安に思う団員もいる。
・防犯イベントが中止となり、増加しているアポ電犯罪への注意喚起の方法が課題。篠原演芸場で対策の寸劇を行ったものを録画し、DVD にして配布することを考えている。

4　意見交換

事前に行ったアンケートの結果に基づき、①イベントや行事開催可否の判断基準、②イベントや行事開催時の感染症対策と責任の所在、③団体の新人発掘等について、意見交換を行った。

（主な意見）

・コロナ禍において活動の一つの判断基準としては「命に関わることかどうか」になると思う。
・消防団でも、感染症対策として大声を出さないように最初は気を付けているが、訓練をやり始めるとだんだんいつもの大きさに戻ってしまうことがあり、対策徹底の難しさを感じる。
・責任の所在については、参加者それぞれに同意書の提出を求める対応を行っている。
・主催者責任をもっと深く考えておくべきと考える。町会で行事を実施する際保険に入っているが、行事保険の範囲では対応できないこともある。
・日赤分団では、若い世代がなかなか入ってこない。80 歳定年制をとっているが、定年制を忠実に守っていると、分団委員がどんどん減ってしまう。
・若い世代の人は町会の入り方が分からない人も多いのではないか。PTA では父親同士の LINE グループを作成し情報共有できるようにした。今後地域との連携もしていきたいと思っている。

最後に、王子警察署、王子消防署より協力依頼を行った。

7　閉会の挨拶

青少年王子地区委員会会長より閉会の挨拶